



神奈川の風



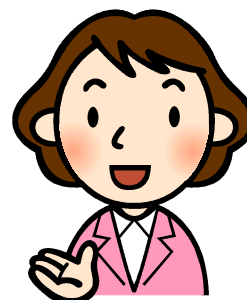
平成29年1月16日号

校長 吉江 明洋

< 今こそ総合力が試されるとき >

3年生は、今日から私立推薦の出願が始まり、来週25日(水)から私立一般の出願。公立出願は30日(月)に予定されています。

今後は、入試・面接・発表と、いよいよ受験期本番となります。その受験方法も、私立推薦や一般受験の試験内容も違い、公立も筆記試験だけでなく面接が全員行われるなど、個々の生徒が受ける学校や受験資格により様々な日程が組まれています。



さて、そんな時期の3年生としては、担任の先生から何度も繰り返して指示や確認がされたと思いますが、言うまでもなく一番大切なのは本人の心構えなのです。

今までは義務教育というルールに乗り、何をしなくとも小学校を卒業すれば中学校と、次の道筋が目の前に用意されていましたが、今回初めて「相手が決定権を持つ」という立場で「自分の力だけでチャレンジする」ということです。それは、甘えや言い訳が一切通用せず、結果が出てしまえば誰のせいにもできない厳しい世界なのです。

願書を提出する、面接を受ける、筆記試験を受けるなど、進路が決定して手続きが完了するまでの行動の全てが自己責任として自分に跳ね返ってきます。



先生方は、願書や本人提出書類のチェックや受験方法の確認など、様々な手助けをしていますが、その方法や日時は全員同じではありませんし「最終責任者は自分自身である」という自覚が必要なのです。今まで他人まかせや、あまりにも先生や親に頼りすぎていた人にとっては試験の時です。

この時期は、突然の降雪も考えられるので、誰に言われなくとも、天候や災害など、交通機関のアクシデントも予想して、受験校までのルートや時間もしっかり確認しておく、受験校の電話番号を控えておく、身分証明書となる生徒手帳を持つ、忘れ物をしない、頭髪・服装を整えるなど、様々なことに細心の注意と適切な行動で臨みましょう。

過去には、「受験会場に遅刻した」「服装・態度がいいかげん」「受験票を紛失した」「準備すべき物を忘れた」「他校の生徒とトラブルを起こした」「受験料の払い込みや合格手続きの期日を間違えた」などの信じられない失敗例もあります。「合格したい者としての姿勢はどうあるべきか」の心構えをしっかりと作るべき時なのです。15歳の義務教育修了予定者として、学習成績のように点数では表せない9年間で身につけてきたであろう君の総合力が、今ここで試されるときなのです。

不安なのはあなただけでは、誰もが大きな不安と緊張に包まれています。しかし「今やらずしていつやるか。今が勝負の時。自分を試すとき。ここが踏ん張り所」なのです。

先生方は、後輩と共に3年生全員の成功を心から祈っています。頑張りましょう。